

製品名: Dnmt1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21313**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:183kD;Observed MW:183kD

抗原情報

遺伝子名	DNMT1
別名	AIM CXXC9 DNMT
遺伝子 ID	1786.0
SwissProt ID	P26358
免疫原	ヒト Dnmt1 の合成ペプチド

背景

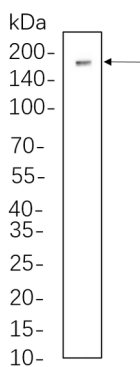
細胞局在: 核。この遺伝子は、ゲノム DNA のシトシンヌクレオチドにメチル基を転移する酵素をコードする。このタンパク質

は、DNA複製後のメチル化パターンの維持を担う主要な酵素であり、ヘミメチル化 DNA を優先的に選択する。DNA のメチル化は、哺乳類におけるエピジェネティックな遺伝子制御の重要な構成要素である。異常なメチル化パターンはヒトの腫瘍に見られ、発達異常と関連している。この遺伝子の変異は、小脳性運動失調症、難聴、ナルコレプシー、および遺伝性感覚神経障害（IE 型）と関連している。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Dnmt1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。